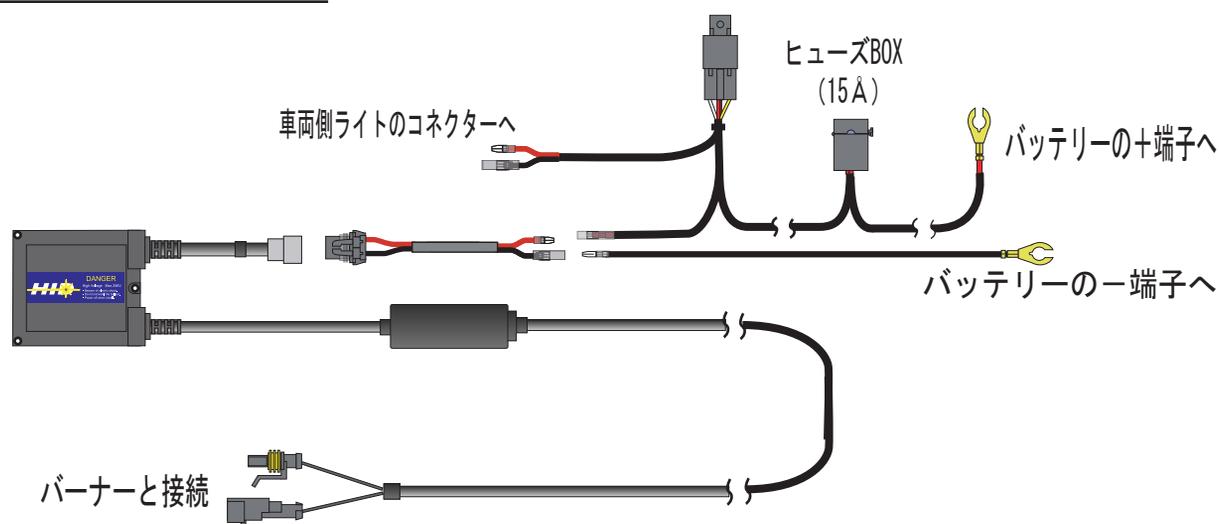


リレーハーネスはオプションです



■ 取り付けの注意

HIDを施工する前に必ず配線を仮接続して点灯確認を行ったうえ取り付け作業をお願いいたします。
上記配線のみでは装着できない車両もあります。

当バラストは必ずリレーハーネスを使用して、バッテリーより直接電源を引いて下さい。
！リレーハーネスをご使用でない場合の不具合については保障対象外となります！

取付ける配線のプラス、マイナスを確認して、バラストの電源接続はプラスとマイナスを絶対に間違えないで下さい。

HIDの取付け作業はバッテリーを外して行って下さい。

バラストは防水処理がされていますが水の直接当たるところはなるべく避けてください。

コネクター等の接続は確実に行ってください。

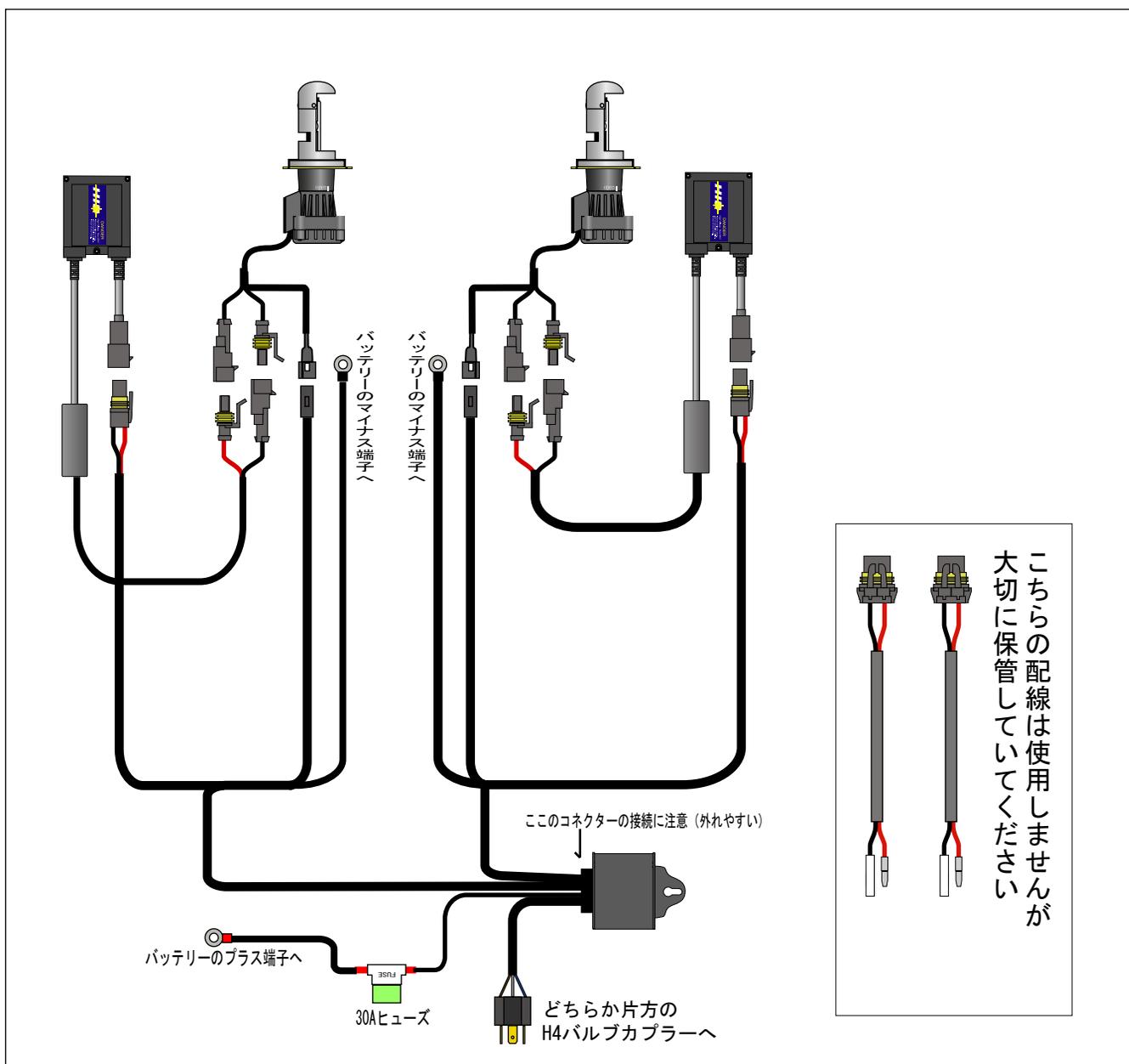
取付けに関しては専門の知識、技術のある工場にて行ってください。

点灯時には25000Vの高電圧が掛かりますので取付けは確実に行ってください。(感電には十分注意して下さい)

リレーハーネスをお使いの場合でアース線をボディーアースへ接続した時に不点灯やチラツキが生じる場合はアース線をバッテリーのマイナス端子へ直接接続してください。

■ 故障かな？と思う前に

- ① HIDパーナーとHIDバラストを接続する
- ② バラストより出ている赤の配線をバッテリーのプラス端子へ、黒の配線をマイナス端子へ接続し点灯確認を行う。
- ③ 点灯確認は5秒以内をお願いいたします。
(作業には危険が伴いますので十分ご注意下さい。)



■ 取り付けの注意

HIDを施工する前に必ず配線を接続して点灯確認を行ってから取り付けして下さい。
上記配線のみでは装着できない車両もあります。

取付ける配線のプラス、マイナスを確認して、バラストの電源接続はプラスとマイナスを絶対に間違えないで下さい。
(電源コネクターの爪は接続時外側を向きます)

HIDの取り付け作業はバッテリーを外して行って下さい。

バラストは防水処理がされていますが水の直接当たるところはなるべく避けて下さい。

コネクタ等の接続は確実に行って下さい。

取付けに関しては専門の知識、技術のある工場にて行って下さい。

点灯時には25000Vの高電圧が掛かりますので取付けは確実に行って下さい。(感電には十分注意して下さい)

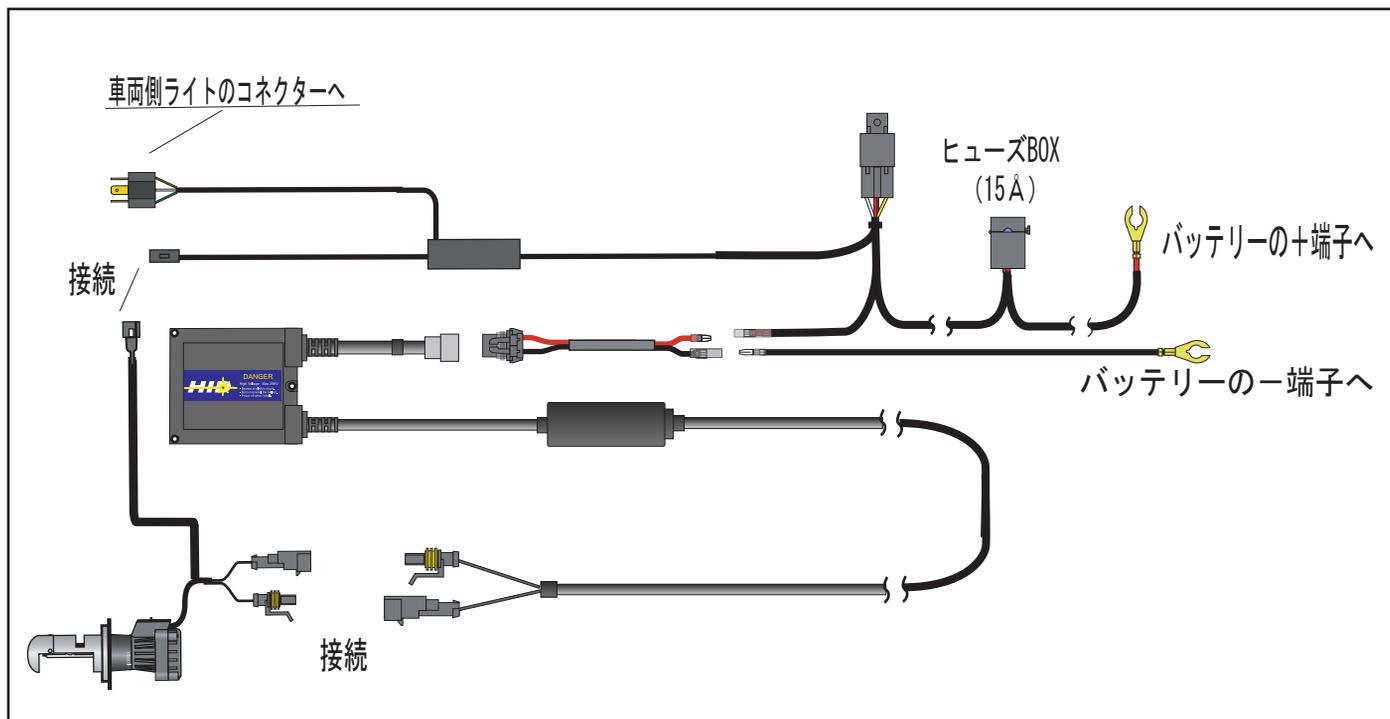
アース線は出来る限りバッテリー接続して下さい。ボディアースする場合は確実にアースが取れている事をご確認下さい。
ボディアースの場合、施工時に点灯しても使用している内にアース不良を起こす事がありますので時々チェックして下さい。

★こちらのキットにはHi/Loコントローラー内にリレーが組み込まれている為、施工時にリレーハーネスは必要ありません。

■ 故障かな？と思う前に

- ① HIDバーナーとHIDバラストを接続する
- ② バラストより出ている赤の配線をバッテリーのプラス端子へ、黒の配線をマイナス端子へ接続し点灯確認を行う。
- ③ 点灯確認は5秒以内をお願いします。(作業には危険が伴いますので感電や火傷には十分ご注意ください。)

★片側だけ点灯しない症状が出た際には、バーナーやバラストの接続を左右で入替えてみて各パーツをチェックする。



■ 取り付けの注意

HIDを施工する前に必ず配線を仮接続して点灯確認を行ったうえ取り付け作業をお願いいたします。
上記配線のみでは装着できない車両もあります。

当バラストは必ずリレーハーネスを使用して、バッテリーより直接電源を引いて下さい。
！リレーハーネスをご使用でない場合の不具合については保障対象外となります！

取付ける配線のプラス、マイナスを確認して、バラストの電源接続はプラスとマイナスを絶対に間違えないで下さい。

HIDの取り付け作業はバッテリーを外して行って下さい。

バラストは防水処理がされていますが水の直接当たるところはなるべく避けてください。

コネクター等の接続は確実に行ってください。

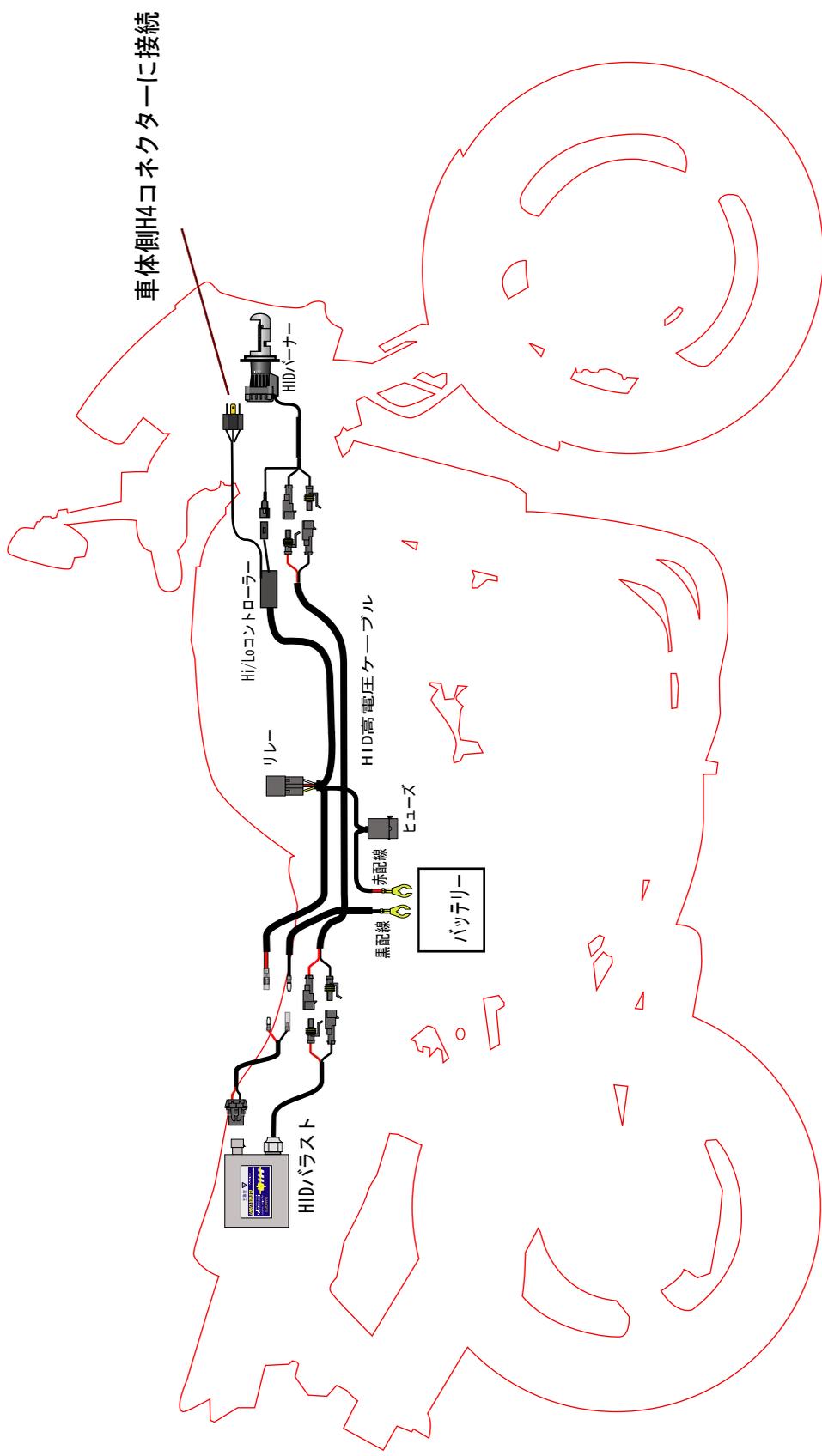
取り付けに関しては専門の知識、技術のある工場にて行ってください。

点灯時には25000Vの高電圧が掛かりますので取り付けは確実に行ってください。(感電には十分注意して下さい)

リレーハーネスをお使いの場合でアース線をボディアースへ接続した時に不点灯やチラツキが生じる場合はアース線をバッテリーのマイナス端子へ直接接続してください。

■ 故障かな？と思う前に

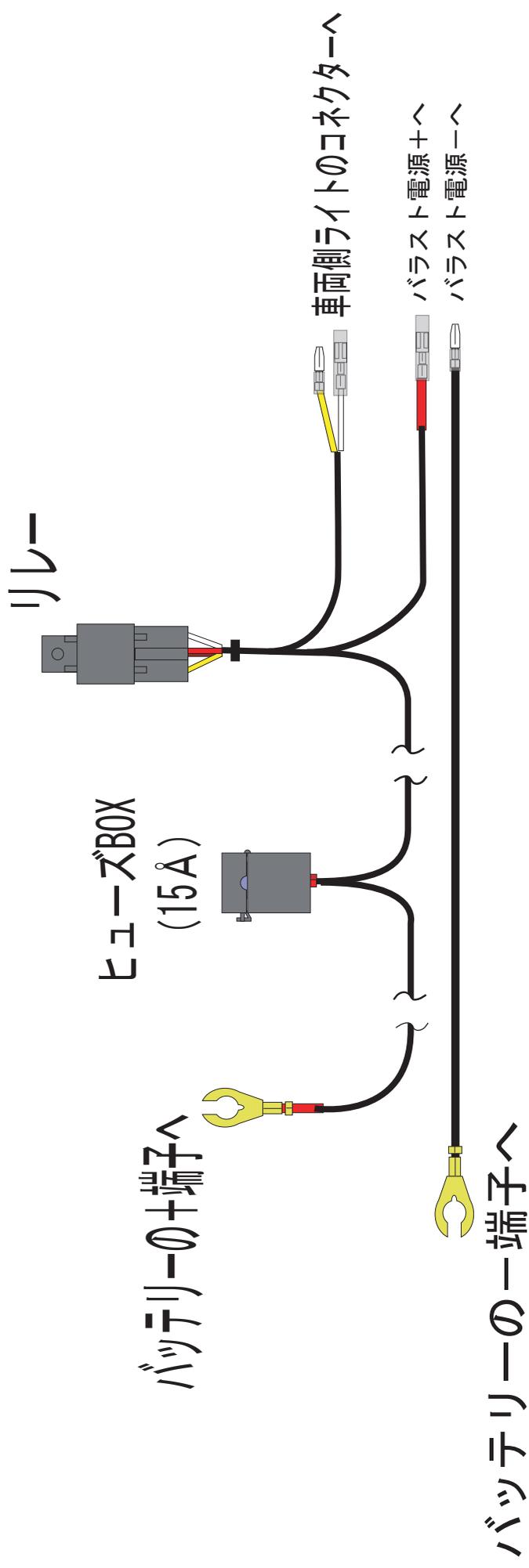
- ① HIDバーナーとHIDバラストを接続する
- ② バラストより出ている赤の配線をバッテリーのプラス端子へ、黒の配線をマイナス端子へ接続し点灯確認を行う。
- ③ 点灯確認は5秒以内をお願いいたします。
(作業には危険が伴いますので十分ご注意下さい。)



注意 1、電源はバッテリーで接続してください

赤配線はバッテリーのプラス、黒配線はバッテリーのマイナス。
 注意 2、ステアリング周りの配線処理は、ステアリングを左右に動かして
 引っ張りや挟み込みが無いようにご注意ください。

(25000Vの高電圧のため断線等で、感電や車両火災の恐れがあります。)

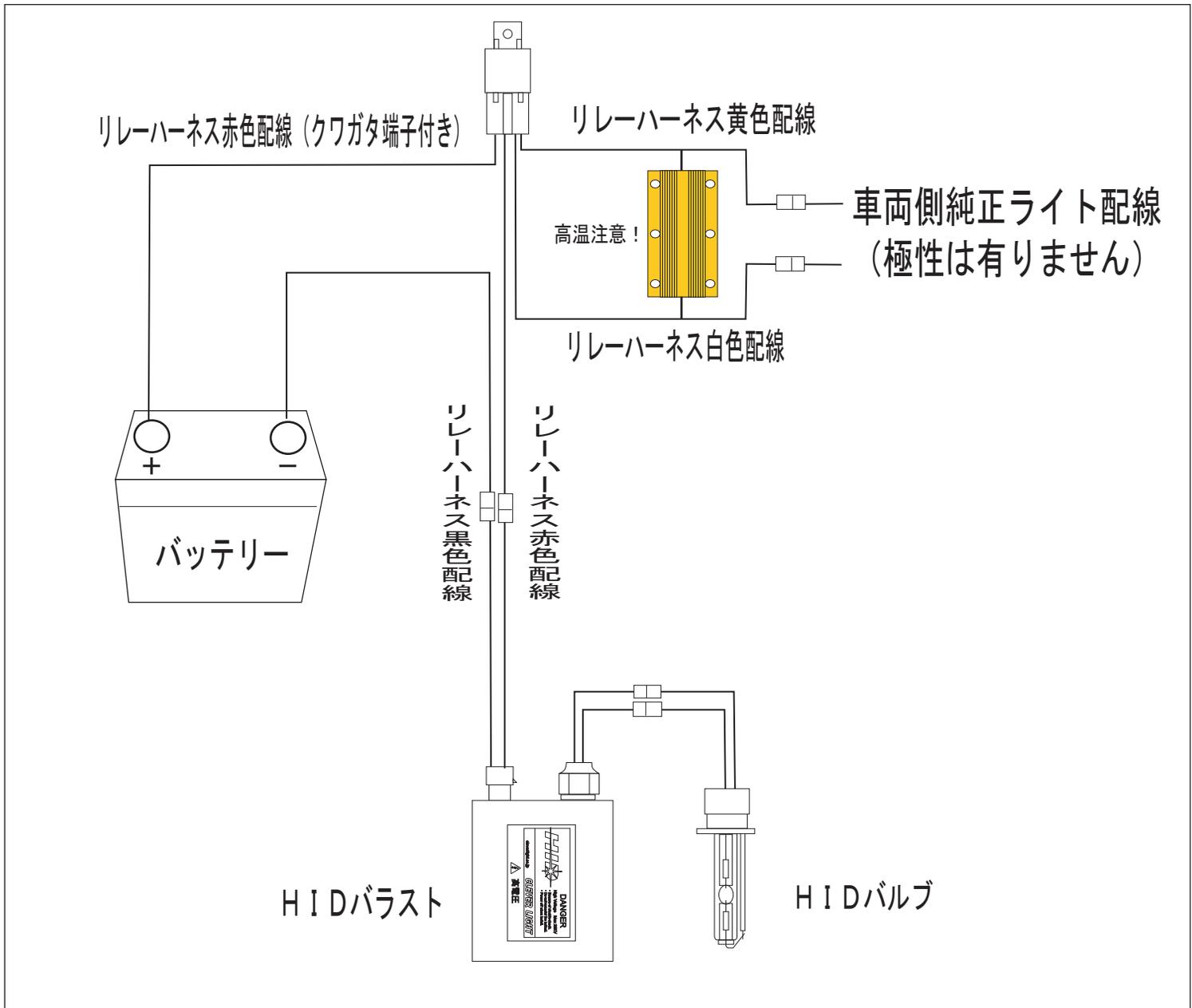


※リレーハーネスの白と黄色の配線に極性はありません。

通電した時にリレーが作動します。

それぞれの配線を車両側のライトコネクター配線にお取り付け下さい。

バルブ切れ警告灯キャンセラー取り付け配線図



リレーハーネスの黄配線と白配線(車体側純正ライトの配線でも構いません)へ
キャンセラー本体から出ている配線をそれぞれ結線して下さい。

警告!

キャンセラーは通電時、高温になるため
触れるとやけどの恐れがあります

また、車両に取り付けの際には樹脂製品等の
溶けやすいパーツには取り付けないで下さい